



きれいな学校 輝く笑顔 ～J(授業)A(挨拶)S(清掃)MI(身だしなみ)N(仲間)～

大久保中だより

〒338-0815 さいたま市桜区五関282

Tel 048-852-3554 Fax 048-840-1430

Mail Address : okubo-j@saitama-city.ed.jp

甲子園全国高校野球大会から学ぶ
～勝負は時の運！くよくよするな！！～

校長 澤田 純一

夏休みが終わり、「天高く、馬肥ゆる秋」(秋は空気も澄んでいて、空も高く感じられ、馬も肥えるような収穫の季節である。)といわれる2学期が始まりました。今学期もはつらつと頑張りましょう。

ところで、皆さんはどのように夏休みを過ごしましたか。部活に燃えた。「よろしい！」あるいは、家の手伝いをした。「大いによろしい！」と伝えておきます。

さて、私の夏休みですが、どこにも出かけることもなく、学校と家との往復で終わってしまいました。それでも、お盆休みには休むことができ、その間は高校野球中継に没頭していました。今年度の埼玉県代表は花咲徳栄高校です。1回戦、2回戦を戦い抜き準々決勝まで進むことができました。そして、対戦相手は東海大相模高校でした。東海大相模高校は、左の本格派・小笠原投手を擁した強豪校です。(結果は優勝しました。)対戦前の評判では、東海大相模高校の圧倒的有利な試合展開を誰もが予想していました。そのような中、各選手は評判を覆すべく熱戦を繰り広げ、まれにみる手ごたえのある試合となりました。結果は接戦の末、残念ながら負けてしまいましたが、チームの総力をあげての試合であり、埼玉県代表としての役目を十分に果たしたといえます。もう一度、花咲徳栄高校の試合を見たいと思うほどの感動がありました。

しかし、残酷ではありますが結果が出るのがスポーツです。(あるいは勉強もそうです。)全員が1位を獲得することはないのです。全員が表彰台に上がることもないのです。それでも自分の責任を果たすことや一生懸命にプレーすることこそ尊いことであると確信すると同時に、それが人間としての成長につながり、人々の心を動かすと考えています。花咲徳栄高校の選手の皆さんには、「負けても天晴！」胸を張って堂々と埼玉に帰ってきてほしいと思いました。逆に最近気になることがあります。オリンピックやワールドカップなどで期待通りの活躍をし、結果を出した選手には賛辞を送り、そうでない選手には罵声を浴びせる人間がいます。それどころか競技場で暴れる人間もいます。皆さんには、そうなって欲しくありません。結果はともあれ頑張った選手に対し、いつでも温かい拍手を送る人間であることを望みます。

私は大久保中学校の応援団長です。「エラーよし！ドンマイドンマイ！」「三振オッケー、気にするな！」「悔しいけど負けた！勝負は時の運！くよくよするな！！」最後まで声をからして皆さんのプレーを応援します。なので、心配することなく全力プレーで頑張ってください。この2学期、皆さんには、それぞれの甲子園があります。劇的なドラマと感動を期待します。